

説明文の 要旨をえらぼう

小4／文章を読んで、筆者がいちばん言いたいこと（要旨）を1つえらびましょう

なまえ

ひづけ

1 月の満ち欠けを よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

月は日によって形が変わって見える。まるく見える日もあれば、細く見える日もある。しかし、月そのものの形が変わっているわけではなく、太陽の光の当たり方と見る方向によって、見え方が変わっているだけなのだ。

- 1 月そのものの形が毎日変わっている。
- 2 月の見え方が変わるのは光の当たり方と見る方向による。
- 3 月はいつも同じ形に見える。
- 4 月は自分から光を出している。

2 電気の通り道を よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

豆電球に明かりをつけるには、かん電池と豆電球を導線でつなぎ、電気の通り道を一つの輪のようにする必要がある。輪のどこかがとぎれてしまうと、電気は流れず明かりはつかない。

- 1 豆電球は導線がなくても光る。
- 2 電気の通り道は輪になっていなくてよい。
- 3 電気が流れるには通り道が輪になっている必要がある。
- 4 かん電池は明かりと関係がない。

3 植物の成長を よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

植物が育つには、水や日光のほかに、空気や適した温度も欠かせない。どれか一つでも足りないと、うまく育たないことがある。植物の成長は、いくつかの条件がそろって初めて進むのである。

- 1 植物は水だけあれば必ず育つ。
- 2 日光は植物の成長にいらない。
- 3 植物はどんな温度でも同じように育つ。
- 4 植物の成長はいくつかの条件がそろって進む。

4 光の進み方を よんで、この文章の要旨として、もっとも正しいものを1つえらびましょう。

光はまっすぐ進む。そのため、光がものにさえぎられると、その後ろに光のとどかない影ができる。影の向きや長さは、光の来る方向によって変わっていく。

- 1 光は曲がりながら進む。
- 2 光はまっすぐ進むので、さえぎられると影ができる。
- 3 影の長さはいつも同じである。
- 4 光と影には関係がない。